

広報

No.104

TABAYAMA 丹波山



大きな自然のポケットです。
山の山の手。丹波山村。

平成16年5月

編集と発行 丹波山村役場総務課 山梨県北都留郡丹波山村890 TEL 0428-88-0211 FAX 0428-88-0207
E-mail info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



5月5日は「こどもの日」

こどもは、家庭のこどもであると同時に社会のこどもであり、国家のこどもでもあります。明日の日本の担い手となることを認識し、国民こぞってこどもの養育に責任を負い、こどもの幸福をはかり、こどもを祝福しようとしたのが制定の意義です。みんなは明日の丹波山村を担う大切な宝です。丹波山村保育所、みんな元気にハイ・ポーズ。

主な内容

- ・当初予算
- ・消防団任命式
- ・小中学校入学式
- ・今の丹波山村を知ろう
- ・お知らせ

人口と世帯
(16年4月末現在)

人口 876人
男 426人
女 450人
世帯 382戸

昨年以上に厳しい 予算編成になりました

平成16年度の当初予算案が3月定例村議会に提出され、一般会計と特別会計（国民健康保険・老人保健・簡易水道事業・水源の里保健休養施設事業・特定環境保全公共下水道事業・有線テレビ放送施設事業・教育奨励資金・介護保険・温泉事業）の予算が原案どおり可決されました。

平成16年度

一般会計当初予算

総額は13億5,200万円

一般会計当初予算

平成十六年度の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ十三億五、二〇〇万円となり、昨年度の当初予算額（十五億二、二〇〇万円）に比べ一億七、〇〇〇万円（前年比十一・二％）の大幅な減額となりました。

歳入（主なもの）

村税

村民の皆さんに納めていただく税金、丹波山村に土地・家屋・償却資産を有する方に納めていただく税金、丹波山温泉「のめこい湯」をご利用いただく皆さんが納める税金など五つの税目をあわせて『村税』が構成されています。

当初予算では、村民税が二、〇九三万円（個人村民税一、〇〇二万円と法人村民税九十一万円）で昨年度とほぼ同じ予算額を計上。固定資産税は二、〇四二万九千円（土地二九四万円、家屋六〇〇万円、償却資産六〇〇万円、東京都のダム用地等に係る市町村交付金五四八万九千円）で昨年度に比べ二四万六千円の減額

主な要因は丹波山村が積雪地域の二級地に指定され木造家屋に減点補正（積雪補正率）を実施した事によるもの。軽自動車税は前年度より五万円多い一〇〇万一千円、たばこ税は四〇〇万円を計上。入湯税は丹波山温泉「のめこい湯」をご利用いただいた方一人につき二五〇円を徴収するもので昨年度と同額

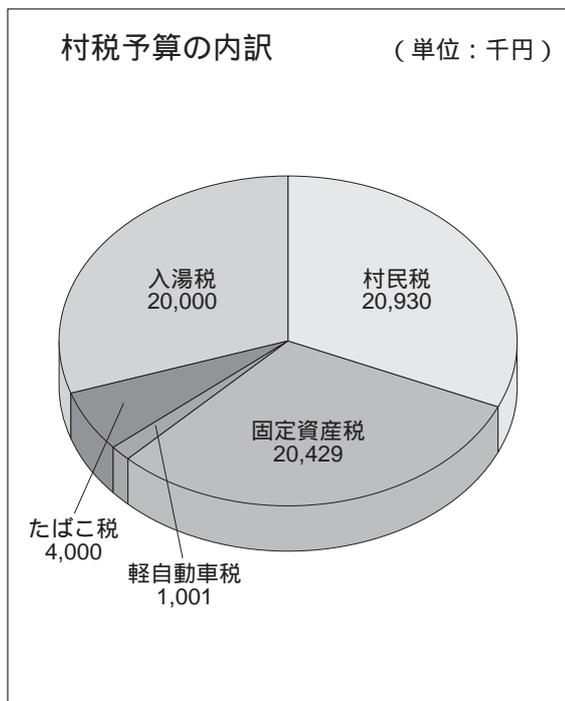
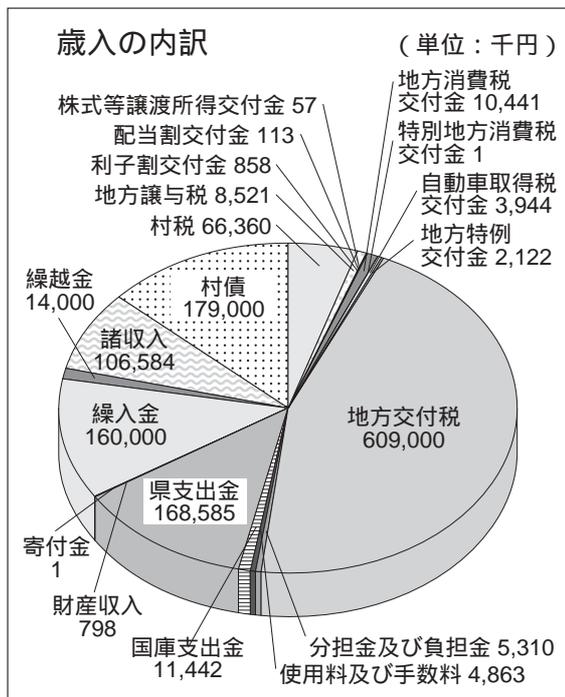
の二、〇〇〇万円を計上。村税合計は六、六三六万円を歳入全体の四九％を占めています。

地方交付税

地方交付税制度は地方公共団体間の税源の不均衡による財政力の格差を国が調整するために設けられた制度で自主財源が乏しい丹波山村をはじめ自治体の九十五％以上が交付団体となっています。ちなみに山梨県内では五十六市町村中五十三市町村が交付団体です。

当初予算では、普通交付税分として六億九〇〇万円を計上し、前年度に比べ一、一〇〇万円（前年比一・八％）の減額。歳入全体では四十五％を占めています。

国による三位一体の改革は国庫補助金の廃止・縮減、税源移譲と地



方交付税の見直しです。今後ますます地方交付税制度を取り巻く環境は厳しくなり、財源の五割弱を地方交付税に頼っている丹波山村の財政も非常に厳しい状況になることが予想されます。

国庫支出金

昨年度ヘリポート建設のため大幅に増額された国庫支出金は当初予算で一、一四四万二千円を計上。前年度に比べ六十六、一％の減額で主たるものは丹波中学校校体育館の地震補強に係る公立学校施設整備費補助金です。歳入全体の〇、八％を占めています。

県支出金

老人医療費負担金や児童手当負



村民グラウンドにドクターヘリが着陸。ヘリポート完成が急がれる。

担金等の県負担金が三四二万五千円。農林水産業費県補助金や商工費県補助金等の県補助金が一億六、二〇九万三千円。選挙費委託金や小袖鍾乳洞管理委託金等の県委託金が三〇六万七千円。県支出金合計で一億六、八五八万五千円で歳入全体の十二、五％を占めています。

主なものは平成十四年度から始まりました「新山村振興等農林漁業特別対策事業」による有線テレビ施設整備工事の県補助金一億二、〇〇万円と「林業・木材産業構造改革事業」として林道山王沢線に係る県補助金二、四五〇万円を計上。繰入金

繰入金

公債費（村の借金の返済のための支出）に充当する減価基金繰入金を六、〇〇〇万円、建設事業に充当する公共施設整備基金繰入金を四、〇〇〇万円、財政調整基金繰入金を六、〇〇〇万円。繰入金合計で一億六、〇〇〇万円を計上。歳入全体の十一、八％を占めています。

諸収入

下水道事業に対する東京都の交付金や日帰り人間ドック参加負担金、各種の検診負担金、住民票・印鑑証明・評価証明・所得証明等の証明料、村預金利子などの収入が含まれ、当初予算で一億六五八万四千円を計上。歳入全体の七、九％を占めています。

村債

これは村の借入金（借金）です。丹波山村は自主財源、いわゆる村税等自分たちで徴収できるお金が少ない。しかし村民生活や福祉の向上、村の活性化の推進など大きい、小さい関係なく事業施策をしない訳にはいきません。そのため実施する時には借金に頼らなければなりません。ただ、どんどん借りているわけではなく、丹波山村の財政を考え許

される範囲内で借りています。

当初予算では一億七、九〇〇万円を計上しましたが、昨年度の二億四、七〇〇万円よりも六、八〇〇万円減額しました。これにより、平成十六年度末（平成十七年三月末）の地方債残高は十七億一六五万六千円で四月一日現在の人口八七二人で計算すると村民一人あたりの借金は一九五万円余となる見込みです。歳入全体の十三、二％を占めています。

[メモ] 平成11年度からの一般会計歳入決算額と村税額と地方交付税額は表のようになっています。

一般会計の歳入決算額と村税・地方交付税の額と構成比（単位：千円）

	決算額	村税	構成比	地方交付税	構成比
平成11年度	2,590,517	58,800	2.3%	952,912	36.8%
平成12年度	1,748,905	75,006	4.3%	980,141	56.0%
平成13年度	1,690,992	74,383	4.4%	887,752	52.5%
平成14年度	1,466,879	75,616	5.2%	811,944	55.4%
平成15年度	1,585,377	70,069	4.4%	754,138	47.6%

- ・平成11年度は林道山王沢線・大指線・杉奈久保線と村道諸畑寺沢線改良工事等で国庫支出金・県支出金と村債の金額が多かったため地方交付税の構成比が低い。
- ・平成12年度から村税に「入湯税」が加わったため構成比の数値が若干高い。
- ・平成15年度の数値は予算額の数値です。
- ・平成15年度の村税と地方交付税の数値は4月21日現在の数値です。

歳 出 (主なもの)

議会費

村議会議員(十名)の報酬や需用費、負担金補助及び交付金などに支出するもので議会費合計は三、七三三万六千円を計上。昨年度に比べ一〇六万三千円の減額。歳出全体の二、八%を占めています。

総務費

総務費には村長や収入役、一般職員の給料、庁車燃料代や消耗品代、印刷製本費、条例等の追録代、「広報丹波山」印刷製本代等の需用費等を支出する「総務管理費」、村民税や固定資産税の前納報奨金を支出する「徴税費」、住民基本台帳ネットワーク関係を支出する「戸籍住民登録費」、「選挙費」などがあり、総務費合計は一億三、三八一萬一千円を計上。昨年度に比べ二、〇〇六万一千円の減額で主たる要因は人件費の減額によるものです。歳出全体の九、九%を占めています。

民生費

民生費には老人福祉や障害者福祉などに支出する「社会福祉費」、児童手当や保育所職員の給料他等を支出する「児童福祉費」、「国民年金事務取扱費」などがあり、民生費合計は一億五、九七一萬九千円を計上。国の三位一体の改革の一つである国庫補助金の廃止・縮減により「保育

所措置費負担金」が廃止されたことは財政的に厳しい状況であり、また、高齢化が進むなか社会福祉協議会を中心に村の実情にあった福祉サービスの提供、高齢者が安心して住める村づくりを目指すため、民生費は昨年度とほぼ同額の予算を計上。歳出全体の十一、八%を占めています。

衛生費

人間ドックをはじめとする各種検診事業や簡易水道会計への繰出金、「ゴミ処理関係などを支出するもので衛生費合計は六、五〇一萬六千円を計上。今後も村民の健康づくりを一層推進していきます。歳出全体の四、八%を占めています。

農林水産業費

農業委員会や農業振興、林業振興などに支出するもので農林水産業費合計は二億九、一二六萬六千円を計上。前年度に比べ九、五六三萬二千円の減額です。主な事業は、新山村振興等農林漁業特別対策事業」による有線テレビ施設整備工事でテレビ放送のデジタル化に対応するための基礎設備工事です。また、「林業・木材産業構造改革事業」を実施し、林道山王沢線の整備を実施します。歳出全体の二十一、五%を占めています。

商工費

就職奨励金や商工会補助金などを支出する商工費と貝沢遊歩道工事や観光協会負担金、夏まつり丹波

等に支出する観光費があり、商工費合計は五、三三二万円を計上。温泉施設を核とした観光施設の充実やキャンペーンなどを実施し、広報活動・集客活動に努力していきます。歳出全体の四、〇%を占めています。

土木費

下水道会計への繰出金や融雪剤購入、村道除雪委託、道路維持等を支出するもので土木費合計は一億八、九八四萬一千円を計上。歳出全体の十四、〇%を占めています。

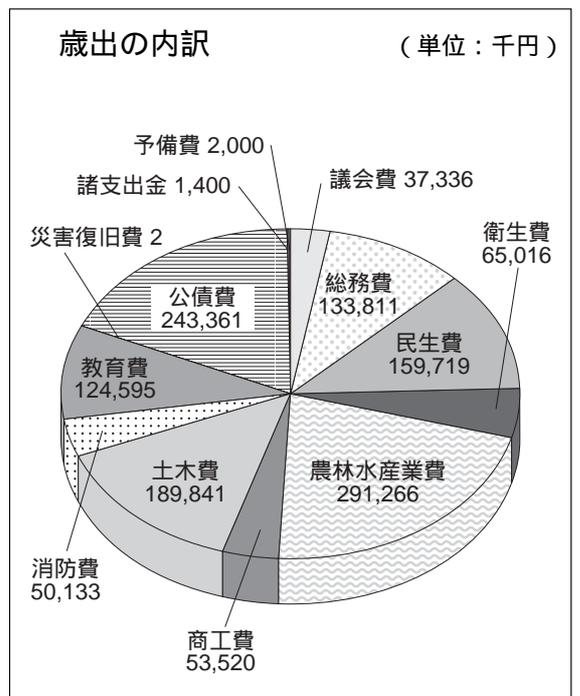
消防費

大月市消防署丹波山出張所職員の給料等の大月市への負担金や救急機材の購入、消防団活動に対する活動費や公務災害補償費、消防資機材の購入等のために支出するもので消防費合計は五、〇二三萬三千円を計上。歳出全体の三、七%を占めています。

教育費

教育長や一般職員の給料等を支出する「教育委員会費」として一、七四六万八千円、「小学校費」として三、〇八八万七千円、「中学校費」として三、五四七萬九千円、成烟遺跡や金

歳出の内訳 (単位:千円)



山調査、各地区公民館維持費、山村留学関係、資料館関係などを支出する「社会教育費」として一、四三三萬円、社会体育関係、学校給食関係などを支出する「保健体育費」として一、六四二萬一千円、教育費合計は一億二、四五九萬五千円を計上。歳出全体の九、一%を占めています。

小学校については、複式学級の解消のため一名の村単教員枠を確保。中学校については、公立学校施設整備費補助事業として丹波中学校体育館の地震補強事業を実施。社会教育やスポーツ振興についても各種事業を取り入れ、推進に努めていきます。

公債費

村の借金返済のための支出で二億四、三三六萬一千円を計上。歳出全体の十八%を占めています。

特別会計当初予算

国民健康保険(事業)

自営業者の方や会社を退職された方など社会保険以外の方のための健康保険として「国民健康保険」があります。丹波山村国民健康保険は、保険加入者が納める国民健康保険税と国からの国庫支出金、社会保険診療報酬支払基金からの療養給付費交付金、山梨県からの県支出金、村の一般会計からの繰入金等により運営されています。

当初予算として歳入歳出それぞれ一億八七六万三千円を計上。昨年度の当初予算に比べ二二九九万九千円の増額です。保険加入者には高齢者が多く又景気低迷による所得の減収もあり、国民健康保険税は前年度より十五万二千円少ない一、五一万九千円、歳入全体の十九、八%を占める程度です。

なお、歳入が歳出を下回る厳しい状況になる恐れがある場合のため、財政調整基金という一種の貯金が国民健康保険にはありますが、当初予算で二、〇〇〇万円を計上し、いざという場合に備えています。国民健康保険会計は今後ますます厳しい運営を強いられる事が予想され、場合によっては保険税率の改正も必要になってくるかもしれません。どうか、日頃からの健康管理に十分努めて

いただいた健康で明るく医療機関にかからない体づくりを心がけましょう。また、国民健康保険税の納付に引き続きご協力いただくようお願いいたします。

国民健康保険(直診)

村の健康施設の拠点として丹波山村国民健康保険医科・歯科診療所が設置されています。当初予算は歳入歳出それぞれ九、八五二万六千円を計上。歳入を見ると、診療収入として医科歯科合わせて四、八五九万二千円を計上し歳入全体の四九、三%を占めています。歯科の小菅村出張診療にかかる負担金が一、〇四〇万円(歳入全体の一〇、六%)、一般会計からの繰入金が三、五二七万二千円(歳入全体の三五、八%)。村ではより一層の医療の充実を図り健康で安心できる村づくりを目指します。

老人保健

前年度当初予算比〇、三%(三十三万八千円)減額の一億四、二二〇万円を計上。

簡易水道事業

前年度当初予算比一、五%(二十五万六千円)増額の一、七〇五万八千円を計上。今後とも村民の皆様へ安定した水の供給ができるよう努力していきます。なお歳入では、簡易水道使用料と手数料を合わせて三三三万六千円を計上。歳入全体の十

九、六%を占めます。

水源の里保健休養施設事業

前年度当初予算比〇、七%(三十三万三千元)増額の三、五三三万三千元を計上。歳入は釣り場・レクリエーション広場・ハンガロフ・すべり台・スケート場・そば処の使用料や販売収入によって計上されています。

特定環境保全公共下水道事業

前年度当初予算比十四、三%(一、四六八万六千円)増額の一億九、六九〇万六千円を計上。下水道の供用開始から十五年以上経過し、処理場の設備等の老朽化が進んでいるための増額です。なお皆様に納めていただく下水道使用料は八二〇万一千円を計上し、歳入全体の四、二%を占めています。

有線テレビ放送施設

前年度当初予算比二十五、七%(二、二二二万円)減額の三五〇万円を計上。なお、有線テレビ使用料として二一〇万一千円を計上し歳入全体の六十%を占めています。

教育奨励資金

前年度当初予算比四、五%(三十三万六千円)減額の六四〇万円を計上。

介護保険

前年度当初予算比五、六%(二九万九千五百円)増額の一、六五一万七千円を計上。なお、介護保険料として八三一万五千円を計上し歳入全体の十四、七%を占めています。

温泉事業

前年度当初予算比一、四%(二二〇万円)減額の一億五、七二〇万円を計上。温泉使用料やレストラン売店収入などの事業収入として前年度より五九九万九千円増額の一億四、二四六万九千円を計上し、一般会計からの繰入金を前年度より一、〇〇〇万円減額の一、〇〇〇万円を計上しました。

特別会計当初予算

(単位：千円)

	16年予算額	15年予算額	比較
国民健康保険(事業)	108,763	106,364	2,399
国民健康保険(直診)	98,516	94,815	3,701
老人保健	142,100	142,458	358
簡易水道事業	17,058	16,802	256
水源の里保健休養施設事業	35,233	35,000	233
特定環境保全公共下水道事業	196,906	172,220	24,686
有線テレビ放送施設事業	3,500	4,710	1,210
教育奨励資金	6,400	6,700	300
介護保険	56,517	53,522	2,995
温泉事業	157,200	159,500	2,300

丹波山村消防団任命式

四月一日(木)に高齢者センターで「丹波山村消防団任命式」が挙行されました。

丹波山村消防団は四十三歳定年制を採用していますが、年齢が高くなるほど団員数が多い構成のため、今回の任命式では九名の団員が退団されました。新入団員については今年に入り、十八歳から三十八歳までの村内に住んでいる方に入団を依頼し、三名の方に入団を承諾していただきました。

丹波山村には入団を依頼できる該当者が少なく、年々新入団員確保が厳しくなっています。広報丹波山十月号で「消防団がピンチです」という内容の記事を載せましたが、



船木団長の「訓辞」

来年の任命式で六名、再来年の任命式で六名が定年で退団し、本当にピンチでした。丹波山村消防委員会平成十三年から団員確保について話し合いをもち今後の消防団について議論し、今回消防団の厳しい状況に村民の皆様のご理解を得て、四十五歳から五十歳までの十六名の方に入団することを承諾していただきました。このことは消防団だけでなく丹波山村にとっても大きな事であり本当にすばらしいことだと思えます。この結果、退団者九名に対し、新入団員者十九名、平成十六年度丹波山村消防団は船木昭和団長以下七十五名で一年間丹波山村の防火防災に努力して参ります。退団された九名の皆様方については長い間ご苦勞様でした。

- 丹波山村消防団
- ・ 団 長 船木 昭和
 - ・ 副団長 岡部 清
 - ・ 副団長 藤原 貢
 - ・ 第一部長 船木 努
 - ・ 第二部長 河村 透
-
- ・ 第一部専任班長 船木 伯
 - ・ 第二部専任班長 松島 信一
 - ・ 本部付専任班長 嶋崎 忠久
 - ・ 本部付専任班長 木下 和彦
- 新班長
- ・ 第一部班長 酒井由記夫
 - ・ 第一部班長 坂本 仁
 - ・ 第一部班長 山本 栄二
 - ・ 第一部班長 岡部 岳志
 - ・ 本部付班長 芦澤将一郎
 - ・ 通信班長 守屋 剛
 - ・ 通信班長 久保田泰史
- 新入団者(再入団者を含む)
- ・ 嶋崎 益富 河村 春樹
 - ・ 田中 廣光 濱本 泰博
 - ・ 岡部 秀樹 岡部 光男
 - ・ 坂本 五一 青柳 重久
 - ・ 橋詰 武 小池 文夫
 - ・ 青柳 長雄 木下 寿文
 - ・ 清水 善明 渡邊日出男
 - ・ 田中 寿二 越湖 利幸
 - ・ 岡部 雅敏 芦澤 健一
 - ・ 岡部 英利
- 退団者
- ・ 船木 良哲 廣瀬 浩蔵
 - ・ 酒井 一彦 青柳 和夫
 - ・ 武井 明信 守屋 保志
 - ・ 白木 孝郎 青柳 秀和
 - ・ 大河 和教
- (敬称略)



部長辞令を受ける船木努さん、河村透さん



長い間ご苦勞様でした。

「宣誓」をする岡部英利さん



毎年五月三十一日は、世界保健機関（WHO）が定める「世界禁煙デー」で、五月三十一日から六月六日の一週間を「禁煙週間」に定めています。

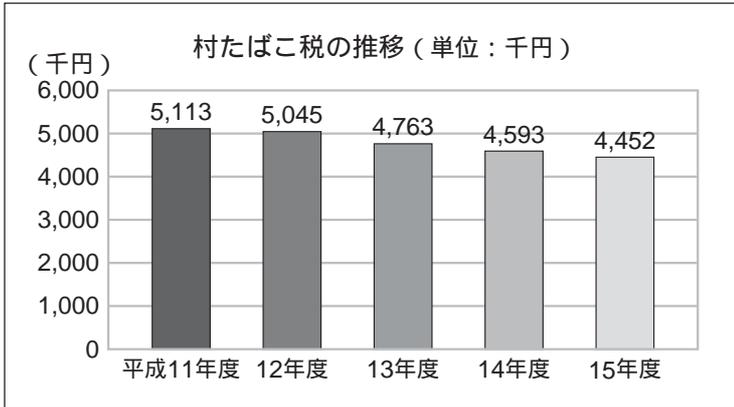
もうすぐ禁煙週間ですが、「禁煙」という言葉が最近いたる場所で叫ばれ、たばこを吸う場所が狭まっているように感じられます。新幹線や特急電車では禁煙車両が増え、飛行機では機内すべてが禁煙に指定されている機体もあるようです。たばこにも「あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう。喫煙マナーを守りましょう」と書いてありますので吸いすぎには十分注意しましょう。

さて、たばこを吸う方にとっては肩身の狭い世の中になっているようですが、たばこには国税（たばこ税）とたばこ特別税（と地方税）（道府県たばこ税と市町村たばこ税）が課せられています。「わかば」や「エコー」といった旧三級品のたばこは一本あたり四円弱（うち村たばこ税

は一、四円余）、「マイルドセブン」など旧三級品以外のたばこには一本あたり八円弱（うち村たばこ税は三円弱）、税金を納めていることとなります。

丹波山村の村税の一つである「たばこ税」は村内のたばこ屋さんやたばこ自動販売機で買っていた本数によって収入額が増えていきますので、たばこを吸われる方はぜひ村内のたばこ屋さん、自動販売機で購入してください。

旧三級品とは わかば・エコー・しんせい・ゴールデンバット・ウルマ・バイオレットの六銘柄



平成15年度は4月21日現在の数値でほぼ確定数値です。

村民税が改正されます

村民税は所得割と均等割によって構成され、所得割は前年中の所得に応じてある一定の税率を掛けたもの、均等割は納税者一人に課する基礎的部分のものを足したものが村民税になります。

丹波山村税条例の第三十一条に「均等割の税率」が定められていますが、三月に地方税法の一部が改正され、平成十六年度の村民税の均等割が年額二、〇〇〇円が三、〇〇〇円に改正されることになりました。

平成十五年度まで人口五十万人以上の市の均等割が年額三、〇〇〇円、人口五十万人以上五十万人未満の市の均等割が年額二、五〇〇円、その他の市町村の均等割は一、〇〇〇円と人口により異なっていた税率が、今回の改正により人口段階別の税率を廃止し、年額三、〇〇〇円に統一することになったものです。県民税については今までと変わらず年額一、〇〇〇円です。

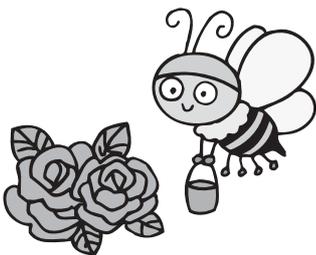
今後も納税者の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

各種役員紹介

丹波山村選挙管理委員会委員長が三月十七日に任期満了となり、委員長の新木進五さん（下組）が退任されました。長い間お疲れさまでした。

新しく選任されました委員のみなさんは次のとおりです。任期は平成十六年三月十八日から平成二十年三月十七日までの四年間です。よろしく願います。

- ・委員長 守屋精治さん（中組）
- ・委員長職務代理 嶋崎勝彦さん（高尾）
- ・委員 松木昭夫さん（保之瀬）
- ・委員 芦澤義廣さん（押垣外）
- ・補充員 河村保子さん（下組）
- ・補充員 嶋崎延子さん（上組）
- ・補充員 吉野 進さん（鴨沢）
- ・補充員 川端勇一さん（上組）



▶こっち向いて「ハイ・ポーズ」



丹波山村保育所入所式

4月5日(月)に丹波山村保育所で平成16年度入所式が行われ、かわいいお友達が仲間入りしました。今年の入所児は、3歳児1名、2歳児3名の合計4名です。最初は恥ずかしそうにしていたが先生から名前を呼ばれると「ハ～イ」と元気で大きな返事が返ってきました。これからお兄さんお姉さんと仲良く歌やおゆうぎをして楽しく遊ぼうね。また、守岡登美子先生の退職により、酒井望さんが保育士(臨時職員)として保育所に加わりま

した。よろしく願います。



酒井 望さん



おおいしこうだい
大石広太くん
〔3歳児〕
(押垣外・太さん)



ひろせ すぐる
廣瀬 賢くん
〔2歳児〕
(押垣外・浩蔵さん)



ふなきとしなり
船木俊成くん
〔2歳児〕
(押垣外・正之さん)



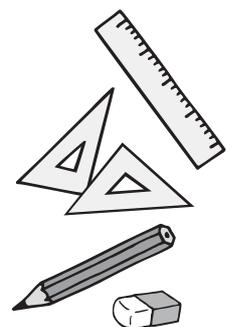
おかべこうや
岡部晃也くん
〔2歳児〕
(保之瀬・晃さん)

丹波小学校入学式



4月6日(火)に丹波小学校で平成16年度入学式が行われました。今年のピカピカの一年生は女の子4名でみんなドキドキしながら入学式に出席していました。式では元気いっぱい挨拶ができ、先生方や在校生、来賓の皆さんの挨拶をしっかり聞いていました。

これから黄色い帽子をかぶり真新しいランドセルを背負って元気に丹波小学校に登校します。どうか車に気をつけ、勉強を頑張って、友達と楽しく仲良く遊んでください。



かんのあいこ
菅野愛子ちゃん
(鴨沢・夏子さん)



きのしたあやか
木下恵香ちゃん
(奥秋・修一さん)



きのしたみさと
木下美里ちゃん
(奥秋・喜人さん)



きのしたまみ
木下真実ちゃん
(奥秋・浩一さん)



入学おめでとう、みんな揃ってハイ・ポーズ

丹波中学校入学式

4月6日(火)に丹波中学校で平成16年度入学式が行われました。今年の新入生は男子2名、女子3名、計5名です。

3月23日の丹波小学校卒業式とは違い、制服に身を包んだ姿を見るとちょっと大人になったように見えました。中学校では英語や数学など難しい科目がありますが、部活動に汗を流し全校音楽で親睦を深め、楽しい中学校生活を過ごしてください。



きのした じゅん
木下 潤くん
(奥秋・浩一さん)



はしづめひろき
橋詰浩貴くん
(高尾・昭人さん)



さかもとまゆ
坂本菜由さん
(奥秋・尚子さん)



おかべ としこ
岡部登志子さん
(鴨沢・康平さん)



おかべ さき
岡部 咲さん
(奥秋・秀樹さん)

「のめこい湯」です

ご利用ありがとうございます。

平成12年にグランドオープンした丹波山温泉「のめこい湯」は、村民の健康増進と福祉向上を図るとともに都市と農村との交流の場にふさわしい施設として整備されました。昨年の8月24日には記念すべき利用者50万人を達成し、その後もたくさんの皆様にご利用いただいているところです。平成15年度の年間利用者数は別表のとおりです。

温泉利用者(平成15年度) (単位:人)

利用者	人数
村 内 大 人	5,031
村 内 子 供	1,588
村 外 大 人	127,567
村 外 子 供	7,282
観 光 協 会 他	11,942
計	153,410

平成15年度の利用者数を見ると、平成14年度に比べ5,994人減少しています。主な要因としては、国道411号線の保之瀬地内土砂崩落や奥多摩町内土砂崩落等があり、観光シーズンに国道が通行止めとなり、村内を通行する自動車が少なかったことが考えられます。しかし、「のめこい湯」は丹波山村に大変貢献している重要な施設です。平成15年度の入湯税は昨年よりも若干少ないものの2千万円近くの収入があり、村税の30%近くを占める大切な収入源です。

また、「のめこい湯」は丹波山村の宣伝広告塔の役割も担っており、観光客数の増加につながっています。オープンから順調に増えてきていた利用者が、平成15年度は平成14年度に比べ減少したことを真剣に受け止め、今後も村民の皆様をはじめたくさんの観光客を誘致できるようこれまで以上に努力して参ります。

これからも「のめこい湯」をよろしく願います。

今の丹波山村を知ろう

丹波山村の **過疎化**

「隣近所が寂しくなったな～」という言葉が最近よく聞くことがあります。そこで平成15年度（平成15年4月から平成16年3月）1年間で、丹波山村の人口は増えたのか、それとも減ったのか報告します。

平成15年4月1日現在の人口は908人でしたが1年後の平成16年4月1日現在の人口は872人。36人の村民が減ってしまった計算になり、率にすると4%減少したことになります。村民が減ってしまうことはたいへん寂しく、村にとっては非常に厳しい結果であると思います。

減少傾向がこのまま続いたとすると村民の住まない村になってしまう恐れもあり、今まで以上に真剣に考えていかなければならない事を意味しています。市町村合併が盛んに行われ丹波山村でも

合併について検討されていますが、仮にどこかの自治体と合併してもこの地域にたくさんの住民がいつまでも健康に楽しく生活できる環境づくりが今求められています。

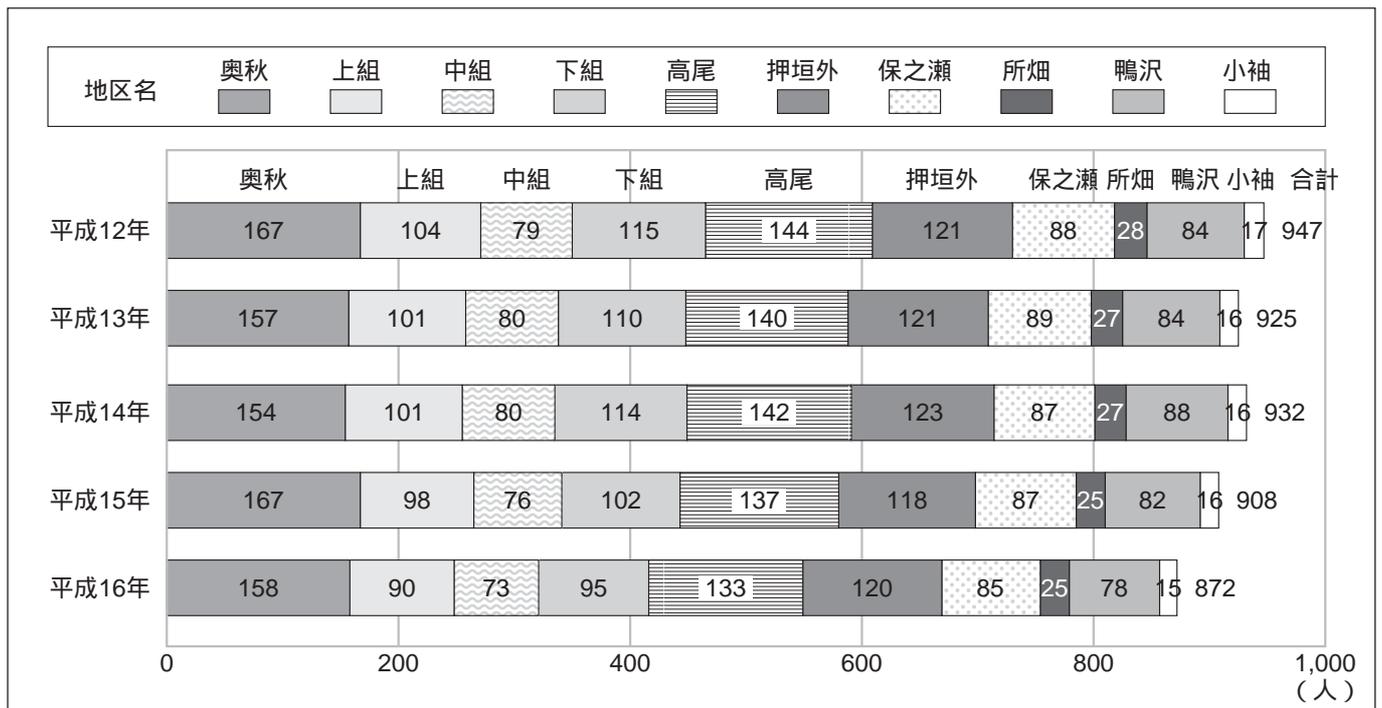
平成15年度の人口動態

- ・出生 2名（芦澤優希くんと船木伸豪くん）
- ・死亡 20名
- ・転入 21名
- ・転出 50名



丹波山村の人口の推移

（単位：人）



4月1日現在の住民基本台帳人口数

丹波山村の 少 子 化

「広報丹波山」には昨年度から『こちら住民課戸籍係です』でおめでた(出生)とおくやみ欄を載せていますが、「毎回、おめでた欄がさみしいな～」とよく耳にします。

昨年度一年間に生まれた赤ちゃんは芦澤優希くん(下組・将一郎さん)と舩木伸豪くん(保之瀬・和久さん)の2名でした。本当に本当に貴重な赤ちゃんで健やかなご成長を願います。

ちなみに平成14年度(平成14年4月から平成15年3月まで)生まれは、長谷川洋美ちゃん(保之瀬・達弥)と山梨県教職員の人事異動により転入されました大石誠也くん(押垣外・太さん)の2名でした。今年の4月14日に長谷川寿樹くん(保之瀬・達弥)と大河美月ちゃん(高尾・和教さん)が同じ日に生まれ、今年は生まれる子供が多いかと期待したいところですが今のところ予定者はいないようです。

今、丹波山村の平成11年4月以降に生まれた子供の数は4月14日現在でわずか13名です。「寂しい」という気持ちがありますが、それどころか現実問題として「保育所を存続していただけるのか?」「今の小学校、中学校に通学させることができるのか?」と保護者の方は心配されていると思います。「少子化」はこれからの丹波山村にとってたいへん心配になる課題であり、早急に取り組む必要があります。



丹波小学校地区別児童数(平成16年4月1日現在)

(単位:人)

	奥秋	中組	下組	高尾	押垣外	鴨沢	計
1年生	3	0	0	0	0	1	4
2年生	2	2	0	1	3	0	8
3年生	2	0	1	0	3	0	6
4年生	2	0	0	1	4	0	7
5年生	0	1	0	2	0	1	4
6年生	1	0	0	0	2	0	3
合計	10	3	1	4	12	2	32

住民基本台帳調べ

丹波中学校地区別生徒数(平成16年4月1日現在)

(単位:人)

	奥秋	上組	下組	高尾	押垣外	鴨沢	計
1年生	3	0	0	1	0	1	5
2年生	1	0	1	3	0	1	6
3年生	3	1	2	1	1	1	9
合計	7	1	3	5	1	3	20

住民基本台帳調べ

丹波山村の高 齢 化

「体が言うことを聞かなくなったし、家族も少ないので畑も程々にするだ〜」
最近、野菜を植えない畑が少しずつ増えているように感じられます。

丹波山村の高齢化率（65歳以上の比率）は4月1日現在43.58%で他の市町村と比べてかなり高齢化が進んでいます。これは、65歳以上の住民の割合が多い事を意味します。

しかし他の市町村の65歳以上の方と比べ、丹波山村の住民は健康で元気で若々しいと思います。現に丹波山村の発展のために一生懸命働いてこられたみなさんであり、今も現役で丹波山村の原動力となっていていただいているところです。

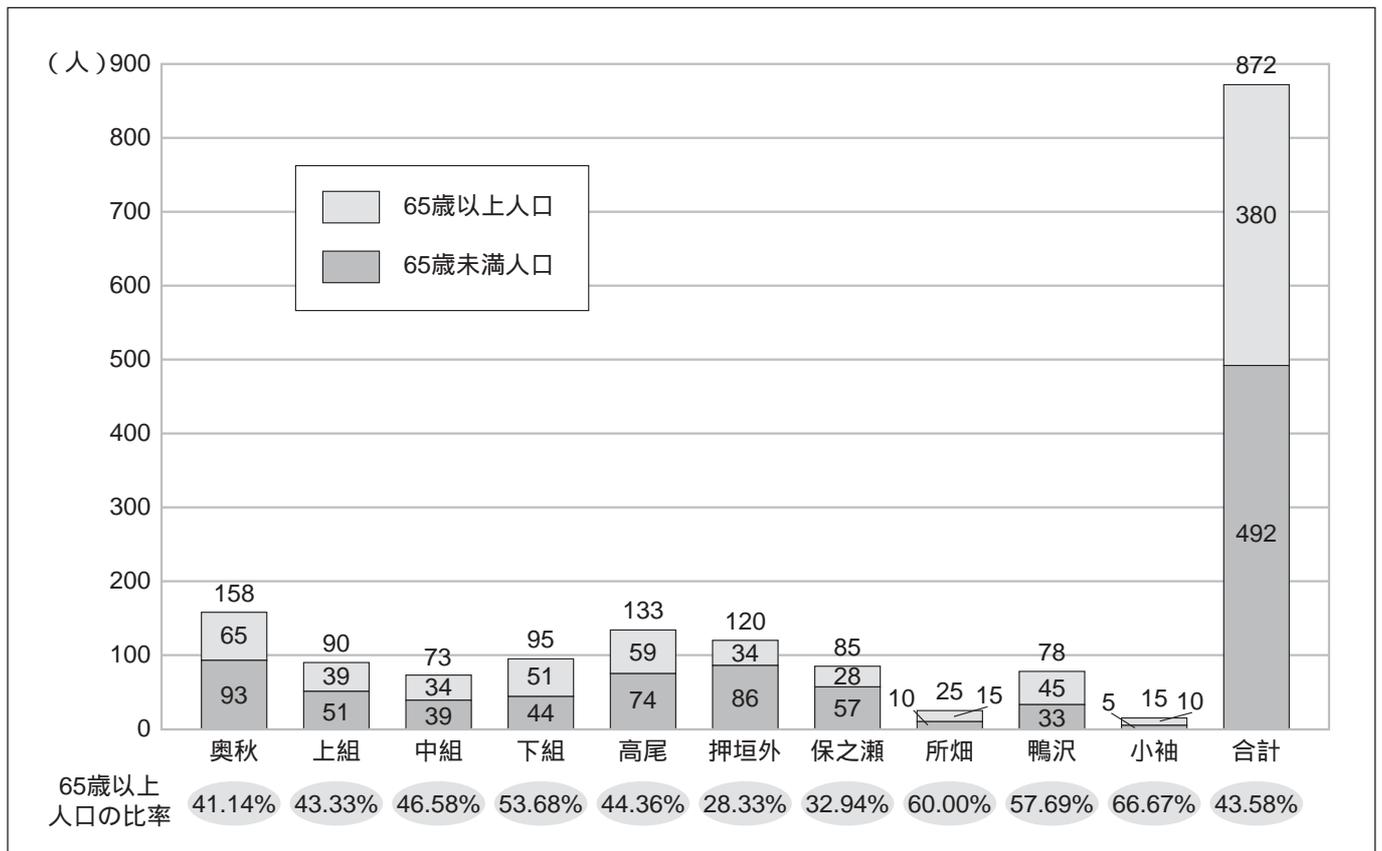
高齢化率が高いということは、64歳以下の若い村民（年少人口・生産年齢人口）が少ないということで、今後の丹波山村を発展させていく人材が少ない事を意味し、この問題も早急に取り組む必

要があります。

ぜひ、今後も健康に気を付けていただき仕事や趣味を楽しみながら丹波山村の今後について助言やご協力をお願いします。



丹波山村地区人口数と65歳以上人口・構成比率（平成16年4月1日現在）



4月1日現在の住民基本台帳人口数

診療所からのお知らせ

歯科診療所は四月一日から診療日が火・木曜日の午後となっております。

診 療 時 間	
月	小菅診療
火	13:00~17:30
水	小菅診療
木	13:00~17:30
金	小菅診療

お問い合わせは
 丹波歯科診療所 0428 88 0272
 小菅歯科診療所 0428 87 0224

教育委員会からのお知らせ

第六回ニュースポーツ交流会
及び体力測定

六月六日(日)に丹波中学校グラウンド及び体育館で「第六回ニュースポーツ交流会及び体力測定」を午前九時三十分から開催します。

子供から高齢者まで、みんなが楽しめる新しいスポーツを用意しますので、日頃スポーツをしない方もぜひこの機会に体を動かしてみてください。

また体育館では、「体力測定」を行います。自分の体力を知る良い機会ですので、近所お誘い合わせのう

え多数の皆様に参加をお待ちしております。六十五歳以上の方の参加は大歓迎です。

第五十七回山梨県体育祭

小菅・丹波山地区予選会

六月十八日(金)に村民グラウンド等で、「第五十七回山梨県体育祭小菅・丹波山地区予選会」を開催します。

競技内容は、野球・女子バレーボール・男子ゲートボール・女子ゲートボールの四競技です。過去五年間の成績を見ると野球は「丹波」、バレーボールとゲートボールは「小菅」という結果になっています。

今年の予選会は会場が丹波山村なので、選手の方さんには日頃の練習の成果を十分発揮し、多数の村民の皆様には試合会場で熱い応援をしていただき、県大会に出場できるようにをよろしくお願ひします。

県体育祭予選会の結果(県大会出場チーム)

	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
野 球	丹波	丹波	丹波	丹波	丹波
女子バレーボール	小菅	小菅	小菅	丹波	小菅
男子ゲートボール	小菅	小菅	小菅	小菅	小菅
女子ゲートボール	丹波	丹波	丹波	小菅	小菅

「スポーツ安全保険」に加入しませんか?

この保険は、村民の皆さんが安心してスポーツ活動や文化活動、ボランティア活動、地域活動などをする事ができるよう、傷害保険等のある保険です。ただし、五名以上の団体を対象としておりますのでご注意ください。

ださい。五名以上で活動されている団体やグループはぜひ加入し、安心して体力づくり等を楽しみましょう。

お問い合わせ

(財)スポーツ安全協会山梨県支部

055 253 1906

丹波山村教育委員会

0428 88 0211

加入区分・掛金・補償額 加入区分の誤り、掛金の未納不足などがございまして、保険金のお支払いの対象とならない場合があります。この保険の詳細については、必ず「スポーツ安全保険のあらまし(A4版3ページ)」又は「解説(A4版95ページ)」をご覧ください。

団体	対 象	加入区分	対象となる事故の範囲	掛 金 (1人年額)	保 険 補 償					賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
					死 亡	後遺障害 (等級)	入院 (日額)	通院 (日額)	療 養		
子ども の団体	・中学生以下の子ども ・スポーツ活動を行わない大人(注2)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	1人1億円 1事故5億円 (共済1,000円)	実害死 (急性心不全、 脳内出血など)	160万円
	・中学生以下の子ども	AW	団体活動中とその往復中*1 団体活動中とその往復中以外*2	1,050円	2,100万円 100万円	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円	1人1億円 1事故5億円 (共済1,000円)	対象と なりません	
大人 の団体	・子どもと一緒に スポーツ活動を行う 大人(指導者など)(注4)	AC	団体活動中とその往復中	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	1人1億円 1事故5億円 (共済1,000円)	実害死 (急性心不全、 脳内出血など)	160万円
	・老人クラブなど (60歳以上)	B	団体活動中とその往復中	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	1人1億円 1事故5億円 (共済1,000円)	実害死 (急性心不全、 脳内出血など)	160万円
大人 の団体	・大人のスポーツ活動 (野外活動、身体運動を含む)	C	団体活動中とその往復中	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	1人1億円 1事故5億円 (共済1,000円)	実害死 (急性心不全、 脳内出血など)	160万円
	・危険度の高いスポーツ活動 (アマチュアソフトボール、ゴルフなど)	D	団体活動中とその往復中	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	1人1億円 1事故5億円 (共済1,000円)	実害死 (急性心不全、 脳内出血など)	160万円

* 掛金には(財)スポーツ安全協会が運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。

(注1)「子ども」とは、中学生以下の児童、生徒、幼児、又はもう学校、ろう学校、養護学校の児童、生徒、幼児をいいます。

(注2)「大人」とは、高校生以上の生徒、学生、社会人をいいます。

(注3)「スポーツ活動を行わない大人」とは、文化活動、ボランティア活動、地域活動を行う子ども団体(スポーツ・ダンス・踊りを除く)の指導者及び子どもの団体の支援として、団体の送迎、応援、活動の準備、後片付けなどを行う大人をいいます。

(注4)「子どもと一緒にスポーツ活動を行う大人」とは、子ども団体で、団体のスポーツの実技、理論指導及びその補助などを行う大人をいいます。団体の保護者であっても、子どもと一緒にスポーツ活動を行う場合は、AC又はCでの加入となります。

(注5)この保険は同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合でも年間掛金を適用します。また、中途脱退の場合は掛金の返戻はいたしません。加入後の加入者の入れ替えも出来ません。

(注6)「AW子ども」については、日射・熱射病、細菌性食物中毒の場合*1「団体活動中とその往復中」では補償額が、死亡2,000万円、後遺障害3,000万円、入院1日4,000円、通院1日1,500円となり、*2「団体活動中とその往復中以外の個人練習、個人活動など」では、補償の対象となりません。

「建設リサイクル法パトロール週間」のお知らせ

五月二十四日(月)から二十八日(金)までの五日間、「建設リサイクル法全国一斉パトロール週間」が始まります。期間中は、県内全域で解体現場などのパトロールを実施し、立入調査を行いますのでご協力をお願いします。

確認してください

八十㎡以上の建物を解体するときには、事前に市町村役場への届出をしないと工事をする事ができません。また、建設業の許可又は解体工事業の登録を受けた業者に委託をし、建物解体から発生する木材やコンクリートなどを分別して、再資源化施設へ持っていくことが必要です。

手続きを守って違反解体や不法投棄のない循環型社会に向けて、住みよい街をつくりましょう。

お問い合わせは
山梨県建築指導課

055 223 1735

「電子申請」がはじまりました

住民票の写しの交付請求や所得証明書交付請求など、今まで役場の窓口で行っていた五つの業務の交付請求がインターネット上でも行える「電子申請」が四月二十一日

(水)から山梨県と五十六市町村で一斉に始まりました。

公的個人認証サービスとは

役場窓口で行っていた各種申請や届出などの行政手続きを村民のみなさんがお持ちのパソコン(インターネットに接続されたもの)で行うときに、申請者が本人であることや申請の内容が改ざんされていないことを保証するため、「電子証明書」という形で住民の方に提供するサービスのことで今までの印鑑の代わりのようなものです。

「電子申請」ができるものは

四月二十一日(水)から利用できるサービスは、
村の手続き
・印鑑登録証明書の交付請求
(住民課関係)
・住民票の写しの交付請求
(住民課関係)

・納税証明書の交付請求
(総務課関係)
・所得証明書の交付請求
(総務課関係)
(総務課関係)

・土地・家屋の評価証明書の交付請求
(総務課関係)
「電子申請」には「電子証明書」の添付が必要です。

「電子証明書」の取得には
・役場住民課で住民基本台帳カードの交付を受けます。カード交付には手数料として一枚五〇〇円か

かります。なお、有効期間は十年です。

・住民基本台帳カードの取得には身分証明書(顔写真付きの免許証など)等が必要です。
・住民基本台帳カードをお持ちの方はカードを持って役場住民課に来てください。

・住民基本台帳カードを取得後、役場住民課で「電子証明書」の発行を申請していただきます。

・「電子証明書」の発行手数料は、一件五〇〇円かかり、有効期間は三年です。

「電子申請」を行うには
・自分のパソコンなどに申請者の個人データを認識させるための「読み取り機」を付けなければなりません。

詳しくは
役場総務課・住民課
0428 88 0211
山梨県市町村総合事務組合
055 235 3228

選挙の投票制度が変わります
公職選挙法の一部改正により「期日前投票制度」が創設されました。

この制度は、従来の不在者投票のように投票用紙に記載し、封筒に入れてその封筒をもつ一つの封筒に入れ署名する手続きが不要となり、

投票用紙に記載し直接投票箱に投票することができるようになりました。ただし、名簿登録地の市区町村以外の市区町村(例えば名簿登録地が丹波山村で奥多摩町で不在者投票をする場合)や病院、老人ホームなどにおける不在者投票については従来どおりです。また、投票開始日は選挙期日の公示日または告示日から不在者投票ができたものが公職選挙法の一部改正により「選挙期日の公示日または告示日の翌日から選挙期日の前日まで」に変更されていますので注意してください。

「郵便等による不在者投票の対象者が拡大」されました。
介護保険法上の要介護者で、介護保険の被保険者証に状態区分が「要介護五」と記載されている方が、新たに郵便等による不在者投票をすることができるようになりました。

なお、「郵便等投票証明書」が投票の時に必ず必要になりますので投票に先立って忘れずに申請するようお願いいたします。

「郵便等による不在者投票における代理記載制度」が創設されました。
郵便等による不在者投票をすることができない者として定められた次の(一)又は(二)に該当する方は、丹波山村選挙管理委員会に届け出た者(選挙権を有するものに限る)

「要介護五」と記載されている方が、新たに郵便等による不在者投票をすることができるようになりました。

介護保険法上の要介護者で、介護保険の被保険者証に状態区分が「要介護五」と記載されている方が、新たに郵便等による不在者投票をすることができるようになりました。

なお、「郵便等投票証明書」が投票の時に必ず必要になりますので投票に先立って忘れずに申請するようお願いいたします。

「郵便等による不在者投票における代理記載制度」が創設されました。

郵便等による不在者投票をすることができない者として定められた次の(一)又は(二)に該当する方は、丹波山村選挙管理委員会に届け出た者(選挙権を有するものに限る)

「郵便等による不在者投票における代理記載制度」が創設されました。

郵便等による不在者投票をすることができない者として定められた次の(一)又は(二)に該当する方は、丹波山村選挙管理委員会に届け出た者(選挙権を有するものに限る)

「郵便等による不在者投票における代理記載制度」が創設されました。

に投票に関する記載をさせることができるようになります。

(一) 身体障害者福祉法上の身体障害者で、身体障害者手帳に「上肢又は視覚の程度が一級」である者として記載されている者

(二) 戦傷病者特別援護法上の戦傷病者で、戦傷病者手帳に「上肢又は視覚の障害の程度が特別項症から第二項症まで」である者として記載されている者

及び「郵便等による不在者投票」には、「郵便等投票証明書」が必ず必要になります。また、いくつかの手続きも必要なので詳しいことについては

丹波山村選挙管理委員会事務局

0428 88 0211

まで問い合わせください。

児童手当現況届の提出について

児童手当受給者は、児童手当法により毎年六月に「児童手当現況届」を役場に提出することになっていいます。これは受給者の前年度の所得、養育の状況、加入している年金の種類などを六月一日現在で確認するためのものです。「児童手当現況届」は六月六日までで役場住民課に提出してください。

問い合わせ

丹波山村役場 住民課

0428 88 0211

丹波駐在所からのお知らせ

最近、はがきや電子メール等により身に覚えのない債務や出会い系サイト・アダルトサイト等の利用料金を不当に請求する事案が丹波山村でも数件確認されています。

もし、身に覚えのない請求がはがき等で来ましたら、そこに記載されている電話番号やメールへは絶対に返答しないでください。無視をすることが大切です。

何らかの心当たりがある場合でもとりあえず

上野原警察署

0554 63 0110

又は丹波駐在所

0428 88 0210

に相談してください。

山梨県警察官募集のお知らせ

職 種

警察官A(男性・武道指導・女性)

警察官B(男性・女性)

受験資格

・警察官A

昭和四十九年四月二日以降の生まれで大学(短期大学を除く)を卒業した方又は平成十七年三月までに卒業見込みの方

武道指導は、全国的な競技会に出場経験又は三段以上等の資格が必要

・警察官B

昭和四十九年四月二日から昭和六十二年四月一日までの生まれで、A区分以外の方

受付期間

平成十六年七月二十一日(水)から平成十六年八月二十日(金)まで

問い合わせ

山梨県警察本部警務課人事担当

055 235 2121

丹波駐在所

0428 88 0210

陸上自衛隊北富士駐屯地創立四十四周年記念行事のお知らせ

北富士駐屯地では創立四十四周年記念行事を計画しています。

つきましては多くの皆様に駐屯地を来訪していただきたくご案内申し上げます。

日時

五月二十三日(日)

午前十時～午後三時

場所

陸上自衛隊北富士駐屯地

(南都留郡忍野村忍草3093)

内容

記念式典・観閲行進・訓練展示・

試乗・音楽演奏等

問い合わせ

北富士駐屯地

0555 84 3135

はじめまして

丹波駐在所の萩原です



警部補・萩原 康さん

山梨県警の人事異動により萩原康警部補が県警本部警備部より丹波駐在所に赴任されました。「丹波は、自然豊かで人情味あふれる地域だと聞いております。朝起きると川のせせらぎ、鳥のさえずり、そよ風などが向かえてくれるような感じで清々しさを感じております。また、さらさら獅子舞をはじめとする伝統文化が息づいている地域ということで、このような丹波で職務に就けることを誇りに思い、これから丹波の治安を守るべく一生懸命精進していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。」

村民の大切な「足」である 路線バス

路線バスは村民にとって最も身近な交通手段として地域の発展や村民の生活に重要な役割を果たしています。丹波山村に關係するバス路線は2路線（丹波線・鴨沢西線）あります。しかし、運転免許を持つ方が増え軽自動車など自動車の普及により、バス利用者は一時期よりも減少し、バス事業者の経営は厳しい状況にあります。

国が進める規制緩和のなかで平成12年の「道路運送法」の一部改正に伴い、バス事業者が他の路線の利益を赤字路線に補填してきた需給調整規制が廃止され、路線廃止が自由にできるようになり

ました。これにより路線の廃止を阻止するため村の一般会計から路線維持費や補填金を支出しております。丹波山村としては路線バスは村民の「足」として非常に重要な交通手段であることを認識し、維持確保に最善の努力を図って参ります。しかし、今後財政が厳しくなり路線維持をするための支出が困難になる状況も考えられます。

ぜひこの機会に路線バスの事についてみんなで考え守っていきましょう。

なお、平成16年4月5日にバスのダイヤが下記のとおりに変更になりました。

みんなで守ろう路線バス

西東京バス時刻表（平成16年4月5日改正）

丹波・鴨沢西行

[平日]

奥多摩駅	鴨沢	鴨沢西	所畑	保之瀬	丹波
5:42	6:17	6:22			
6:05	6:40	6:45			
6:55	7:30	7:32	7:33	7:40	7:51
8:45	9:20	9:25			
9:40	10:15	10:17	10:18	10:25	10:36
10:45	11:20	11:25			
12:40	13:15	13:17	13:18	13:25	13:36
14:40	15:15	15:17	15:18	15:25	15:36
16:10	16:45	16:50			
17:42	18:17	18:19	18:20	18:27	18:38
19:20	19:55	20:00			

奥多摩駅行

[平日]

丹波	保之瀬	所畑	鴨沢西	鴨沢	奥多摩駅
			6:27	6:29	7:07
			6:55	6:57	7:35
8:10	8:18	8:25	8:26	8:28	9:06
			9:30	9:32	10:10
10:45	10:53	11:00	11:01	11:03	11:41
			11:30	11:32	12:10
13:45	13:53	14:00	14:01	14:03	14:41
15:45	15:53	16:00	16:01	16:03	16:41
			16:55	16:57	17:35
18:50	18:58	19:05	19:06	19:08	19:46
			20:05	20:07	20:45

丹波・鴨沢西行

〔土曜日〕

奥多摩駅	鴨沢	鴨沢西	所畑	保之瀬	丹波
6:05	6:40	6:45			
6:30	7:05	7:10			
6:55	7:30	7:35			
8:30	9:05	9:07	9:08	9:15	9:26
9:30	10:05	10:07	10:08	10:15	10:26
11:00	11:35	11:40			
12:50	13:25	13:27	13:28	13:35	13:46
13:15	13:50	13:55			
15:25	16:00	16:02	16:03	16:10	16:21
16:50	17:25	17:27	17:28	17:35	17:46
18:25	19:00	19:05			

奥多摩駅行

〔土曜日〕

丹波	保之瀬	所畑	鴨沢西	鴨沢	奥多摩駅
			6:50	6:52	7:30
			7:15	7:17	7:55
			7:45	7:47	8:25
9:40	9:48	9:55	9:56	9:58	10:36
10:30	10:38	10:45	10:46	10:48	11:26
			11:42	11:44	12:22
			13:55	13:57	14:35
14:20	14:28	14:35	14:36	14:38	15:16
16:50	16:58	17:05	17:06	17:08	17:46
18:10	18:18	18:25	18:26	18:28	19:06
			19:10	19:12	19:50

丹波・鴨沢西行

〔日曜・祝日〕

奥多摩駅	鴨沢	鴨沢西	所畑	保之瀬	丹波
6:05	6:40	6:45			
6:30	7:05	7:10			
6:55	7:30	7:35			
8:30	9:05	9:07	9:08	9:15	9:26
9:30	10:05	10:07	10:08	10:15	10:26
11:00	11:35	11:40			
12:50	13:25	13:27	13:28	13:35	13:46
13:15	13:50	13:55			
14:20	14:55	15:00			
15:25	16:00	16:02	16:03	16:10	16:21
16:50	17:25	17:27	17:28	17:35	17:46
18:50	19:25	19:30			

奥多摩駅行

〔日曜・祝日〕

丹波	保之瀬	所畑	鴨沢西	鴨沢	奥多摩駅
			6:50	6:52	7:30
			7:15	7:17	7:55
			7:45	7:47	8:25
9:40	9:48	9:55	9:56	9:58	10:36
10:30	10:38	10:45	10:46	10:48	11:26
			11:42	11:44	12:22
			13:55	13:57	14:35
14:20	14:28	14:35	14:36	14:38	15:16
			15:30	15:32	16:10
16:50	16:58	17:05	17:06	17:08	17:46
18:10	18:18	18:25	18:26	18:28	19:06
			19:35	19:37	20:15

がんばれ

丹波山サッカークラブ日記



丹波山サッカークラブ（丹波山S C）が初の遠征試合

3月24日（水）

奥多摩町の氷川小学校グラウンドで、奥多摩町にあるサッカークラブ「アルティスタフットボールクラブ（アルティスタF C）」と試合をしました。

当日は、小雨が降り、気温が下がり霧が立ちこめあいにくの天候でした。しかし子どもたちは、今までの練習の成果を発揮するため、真剣な眼差しで試合前の練習を一生懸命し、試合に臨もうとしていました。試合は保育所児から小学3年生までのチームと小学4年生から小学6年生までのチームを編成し、いざ試合開始。丹波山S Cは、相手ゴール前に攻め入る場面もありました。しかし、アルティスタF Cの選手の方が若干上手で結果は惜しくも負けてしまいました。

当日はお父さんやお母さん達の応援も力が入っており、子どもたちに負けないぐらい熱く燃えていました。今度は「目指せ1点」を目標に頑張ってもらいたいと思いました。選手のみなさん、お父さんお母さん他応援に行かれたみなさん、ご苦労様でした。



いざ試合だ～



応援ご苦労様です



相手陣地に攻め込むぞ



みんなお疲れさまでした～



卒業おめでとう

丹波中学校卒業式

3月12日(金)丹波中学校で「第57回卒業証書授与式」が行われました。それぞれの思い出と希望を胸に男子4名、女子1名、計5名の卒業生が巣立っていきました。4月からは5名とも高校に進学し、丹波山村から離れて生活していますが保育所・小学校・中学校と、ともに学び、遊び、笑った5人の友情は、これからの生活でかけがえのないものになっていくでしょう。何年か経ってまた丹波山村で生活していただけることを願います。



きのしたすみか
木下澄香さん
(奥秋・浩一さん)



かわむらなおと
河村直人くん
(高尾・透さん)



ふなまたかよし
船木隆嘉くん
(保之瀬・努さん)



かわむら しょう
河村 洋くん
(鴨沢・義信さん)



たなべひろかず
田辺浩康くん
(奥秋・新一さん)

丹波中学校「卒業のしおり」から

丹波中学校卒業式は、昭和22年度(昭和23年3月)「丹波山中学校」が創立され、第1回卒業式(12名の卒業生)を行なったのが始まりです。昭和28年に丹波山中学校鴨沢分校が鴨沢小中学校に独立し、丹波山中学校は今の丹波中学校に改称され今回「第57回卒業式」に至っています。鴨沢中学校は生徒数の減少により昭和58年3月19日に閉校になりましたがこの間、355名の卒業生を送り出しています。

今回の第57回卒業式で配られた「卒業のしおり」のなかに卒業生名簿(5名)があり、男女混合五十音順で5人目の船木隆嘉くんの卒業証書番号が1,382番になっていたことから、丹波中学校を卒業した生徒は1,382名という事になり、鴨沢中学校卒業生と合わせると合計1,737名が中学校を卒業したことになります。

鴨沢中学校を含め卒業生が最も多いときは、

昭和37年度(昭和38年3月)の70名、その後も50名前後で推移していたものが昭和50年度あたりから30名前後、昭和55年度あたりから20名前後と減少し、昭和62年度あたりからは10名前後、平成7年度卒業生はわずか3名と記録されています。

今後急速に生徒数が増えることは難しいと思われませんが、長い歴史と伝統を誇る丹波中学校から、いつも明るい笑い声と息のあった音楽が聞こえていくよう願うものです。「ピンポーンパンポーン」のチャイムが奥秋地区から無くならないように。



丹波山村 保育所卒所式



保育所卒所おめでとうございます。

3月26日(金)に丹波山村保育所で「第31回卒所式」が行われました。

今回の卒所児は5名で全員女の子でした。次第に従って式は進みましたが、所長の守岡登美子さんが3月31日付けで退職。河野宏美さんが村外の小学校へ入学することになっていたのでちょっぴりさみしい卒所式になりました。

保育所で学んだ歌やおゆうぎ、そして思い出をたくさん詰め込んで保育所を卒所していきました。



守岡登美子先生、長い間お疲れさまでした。

今日もニコニコ
元気で チュ!

ふなきのぶひで
船木伸豪くん(0歳) 生年月日 平成16年2月25日
(保之瀬・和久さん)

こちら 住民課 戸籍係 です

平成16年2月19日から平成16年5月7日までに受理したものです。(敬称略)

おめでた 健やかなご成長を

- ・船木 ^{のぶひで} 伸豪(男) 2月25日生 (和久・千詠)〔保之瀬〕
- ・長谷川 ^{としき} 寿樹(男) 4月14日生 (達弥・康恵)〔保之瀬〕
- ・大河 ^{るな} 美月(女) 4月14日生 (和教・まさ江)〔高尾〕

おくやみ ご冥福をお祈り申し上げます

- ・青柳 本吉 82歳〔高尾〕
- ・守屋カツエ 98歳〔中組〕
- ・船木 シチ 93歳〔押垣外〕